



調査会社で働く先輩に聞く！ ——データを使って話せる、書ける人になるには

「なんとなくデータが扱えるようになると良さそう……」と多くの方が感じていると思います。しかし、それがどのように役立つのイメージが持っていますか？ CSI では統計検定や統計調査士、社会調査士などといった資格の取得支援を行っていますが、「この資格はどう活かせるのか？」といった質問もよく受けます。「データを扱う」ことが大学を出てからの生活でどう活かされるのかについて、立教大学経済学部の卒業生で株式会社サーベイリサーチセンターに勤めていらっしゃる齋藤さんにお話を伺います！

早速ですが、齋藤さんが勤めていらっしゃる「サーベイリサーチセンター」という会社について教えてください。主にもどのようなことをしている会社なのでしょうか？



齋藤さん

サーベイリサーチセンターは総合調査会社と呼ばれる会社で、主に三つの分野で調査を行っています。一つ目は交通量調査、二つ目がマーケティングリサーチ、三つ目が世論調査です。なので、自治体や国といった公的機関がお客さんになることも多く、自治体の計画策定や世論調査、統計調査などを受注して手がけたりします。私が経験した例でいうと、賃金構造基本統計調査や就労条件総合調査などですね。世代や性別ごとの「平均年収」や、「有給取得率」がニュース取り上げられたりするときの根拠になる調査です。



CSI

日本社会の経済生活の基盤となるデータを集めるとも重要な仕事ですね。齋藤さんは、学生時代から今のような仕事を目標していたのでしょうか？



齋藤さん

大学時代に経済学部の櫻本先生のゼミに所属していたことが大きなきっかけです。そこで統計の勉強をしたり、先生のもとで調査員の経験をしたりする中で、学んだことを生かしたいと思うようになり、調査会社に就活をしました。実際入ってみると細かい点では想像と異なるところもありますが、おおむね想定通りの道を歩めていると思っています。



CSI

学生時代にやったことで、今の仕事につながっていると思うポイントはどこですか？



齋藤さん

他の一般企業と違って調査会社なので、統計調査士の資格が業務と密接に関係していて、資格手当も支給されます。資格勉強の内容もダイレクトに仕事に活かされている実感があります。ただ、他業種の企業や公務員だったとしても、数字を適切に読み取って合理的に判断する力が必要とされることは多いのではないのでしょうか。社会人として組織の中で議論するときには、グラフや数字を正しく読み取って意思決定の際に根拠のある議論をする力は必要だと感じます。その点では学生時代の学びは役立っていますね。櫻本先生の授業ではエクセルを使ってデータの累積や平均を出したり、グラフを作成したりしましたし、統計ソフトを使った資料作成のコンペにも出たことがあります。こういう経験はしてよかったと思います。



CSI

そうした経験を積んでいると、社会に出てからの考え方にも影響がありそうですね。



齋藤さん

そう思います。大学時代に数字ベースで考える癖がついていると、社会人になってもその考え方が生きる場面が多いですね。基本的なデータの扱い方や見方をもとに、自分の考えにきちんと根拠を持たせることは仕事において欠かせないスキルだと感じます。



CSI

齋藤さんは就職して6年ということですが、今の学生にアドバイスをするとしたらどんなことがありますか？



齋藤さん

もちろん個人差はありますが、私が入社してからの後輩社員を見ていて思うのは、卒論をきちんと書いていた人はしっかり根拠を示す力があり、データに基づいた話をするのが身についているなということです。社会人になるとテキストでコミュニケーションする場面も多いので、まず卒論をしっかり書くことと、基本的な統計知識はぜひ身につけてほしいです。たとえば統計検定3級程度の知識でも、グラフの見方やヒストグラムの読み取りなど、数字に抵抗がなくなると思います。



CSI

ありがとうございました！

CSI では以下のような資格や検定試験の取得を支援しています。

社会調査士 統計検定 (1級～4級) 統計調査士 専門統計調査士

8号館4階奥のCSI事務室では、検定試験の過去問や試験対策に役立つオリジナルテキストも配布していますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください！



CSI

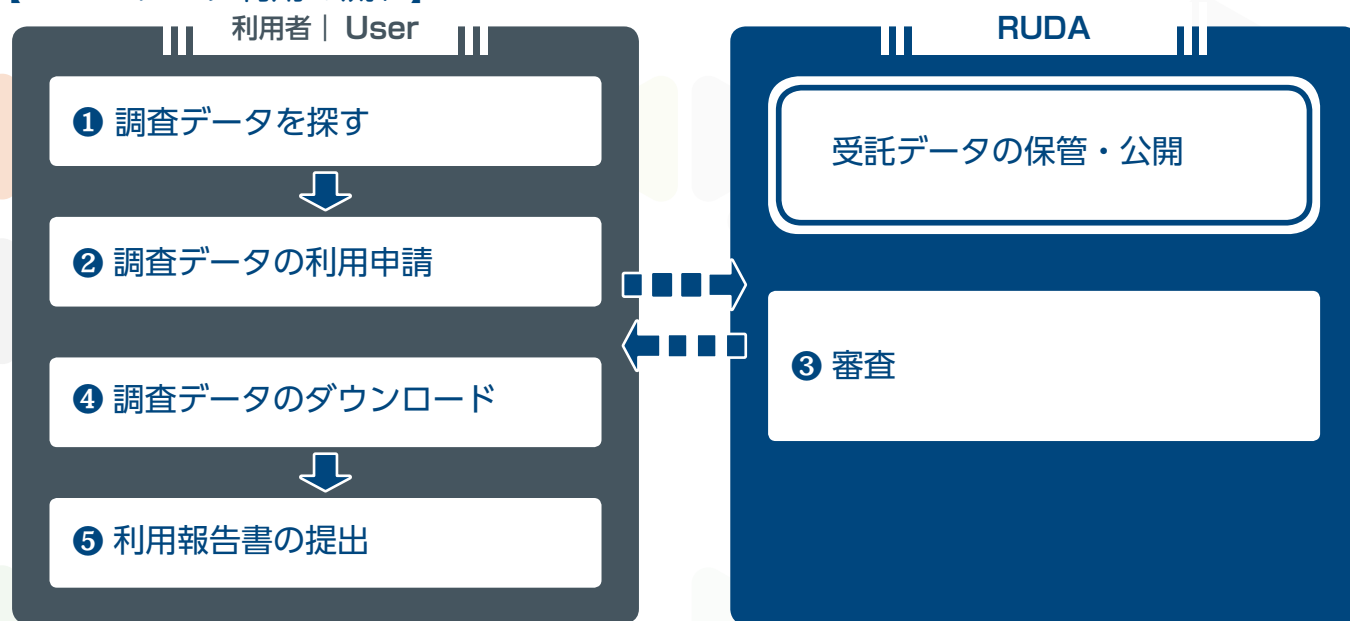
立教大学データアーカイブ“RUDA(ルーダ)”をご存知ですか？

社会情報教育研究センターでは、立教大学データアーカイブ（Rikkyo University Data Archive）、通称“RUDA”を運営しています。RUDAでは、様々な社会調査データを収集・整理・保管し、広く公開しています。教育・研究目的として学内外の教員、研究者、学生の皆さんがご利用いただけます（大学院生・学生の方は大学などの研究機関に所属する研究者1名の承認が必要です）。詳しい使い方や利用条件はRUDAのウェブサイトをご覧ください。

■RUDAがリニューアルされました！

この10月、RUDAは新サイトにリニューアルされました！これまではデータを利用するためにユーザ登録が必要でしたが、今後は不要になります。利用したいデータを見つけたら、そのまま個別のデータから利用申請することができます。

【RUDA データ利用の流れ】



■新サイトはこちらから！



RUDA RIKKYO UNIVERSITY
DATA ARCHIVE

URL: <https://ruda.repo.nii.ac.jp/top>



※URLが変わりましたので、ブックマークなどをされている方は変更をお願いします

● 関連情報

CSIでは、表面で齋藤さんが紹介していた「統計検定」や「統計調査士」のほか、「社会調査士」やグローバル教養副専攻のデータサイエンスコースなど、在学中に取得できる資格や副専攻のサポートをしています。下記QRコードにアクセスしていただくと詳細をご確認いただけます。また、池袋キャンパス8号館4階の窓口ではCSIのオリジナルテキストや過去問も配布しておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください！

社会調査士資格とは？



統計検定とは？



グローバル教養副専攻・
データサイエンスコースについて



■ News Letter 第14号 2024年12月発行

- 編集責任者：砂川浩慶（CSIセンター長）
- 編集者：山口和範（統計教育部会）
- 編集・発行：社会情報教育研究センター（CSI）

- TEL：03 - 3985 - 4459
- Email：csi-info@rikkyo.ac.jp
- URL：<https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi>
立教大学 池袋キャンパス 8号館4階

